



# 豆島手延べ素麺



同じで、細さはほんの1㎜程度。

材料は小麦粉、水、塩とどれも

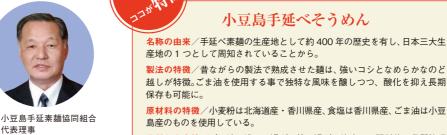
なのに、はっきりと味に違いが出

る。シンプルながらも、なんて奥

深いのだろう

夏を迎えるたび

に以前から、素麺にはそんな思い



名称の由来/手延べ素麺の生産地として約400年の歴史を有し、日本三大生

製法の特徴/昔ながらの製法で熟成させた麺は、強いコシとなめらかなのど 越しが特徴。ごま油を使用する事で独特な風味を醸しつつ、酸化を抑え長期

<mark>品質と安全性</mark>/ごま油は沸かし過ぎ、塗り過ぎに注意し、開封後の品質管理

特認者\*/小豆島手延素麺協同組合(香川県小豆軍小豆島町池田 1031 番地)

中、麺そのもののビジュアルから が夏になるとスーパーにひしめく を巡らせていた。様々なブランド

食

須佐美 裕一氏 も徹底。残り油はキッチンペーパー等でふき取り、常に清潔にする。

と多い。そんな素麺好きをうなら

しか喉を通らないという人は意外 欲がどうしても減退する夏、素麺 オリティは確かに違っている。 は違いは良く分からない。だがク

せる逸品が、

小豆島から生まれて

品質を長く保つために 天日干しの後は屋内で 予備乾燥しさらに本乾燥と、乾燥の工程も実

专

感じられる小豆島素麺伝統に加え、新しさ、 を重ねていかなければならず、 たっぷりと時間をかけ何回も熟成 そして粘りの出にくい中力粉をよ に酸化や劣化しにくく加工された 小麦粉は主に中力一等粉、塩は瀬 りコシの強い素麺にするためには 厳選された原材料が使用される。 地元「かどや製油」と、 、内の良質な塩、ごま油は素麺用 ブランドによって産地が異なる いずれも

のがこの ઇ る そんな小豆島手延べ素麺の中で 特に素材や製法にこだわった 「島の風」「島の雪」「島

> ば見た目では分からないことが、 わいとなるのかは茹でて見なけ 見た目は同じで、どんな風味、 ぞれ際立つ個性をそなえている。

味

実に41工程にも及ぶ丁寧な作業を 生地作りから最終的な袋詰めまで

イシモチ麦を混ぜたものと、それ

小豆島手延べ素麺は完成す

麦の・ 素であるβグルカンを含む食物繊 ろ道は今、 弾力に優れた心地よい食感となめ 追及したもの。島の雪は北海道産 産の小麦をブレンドし、 らかさを実現したもの。 小麦粉を使用することで、 上質な風味と深みのある味わいを きの夢」といううどん粉と北海道 のへんろ道」だ。島の風は「さぬ 中心部だけを抽出する製法で 最も脚光を浴びる栄養 さらに小 島の 粘りと 思いきや、 ゆえ ない 統と新しさが存分に堪能できる夏 まれている。こうなると、その て欲しい」と語る通り、 も昔からの作り方を今も変えてい 代表理事が 手延素麺協同組合の須佐美 裕一 余計に興味を引き立てる。 進化 い。その伝統を皆さんに味わ

今後も変えるつもりはな

シンプ

「小豆島では400年

れており、

原材料はすべて組合か

ら支給されることでクオリ

ティ

70軒すべてが小豆

島の貴重な財 保たれている。

維が精白米の約30倍といわ

るダ

が毎年楽しみになってくる。

家内生産により同じ工程でつくら

この小豆島素麺は現在、

約70軒の

なめらかさが生まれるのだという。

く細い麺で強いコシとのど越しの

の澄んだ瀬戸

内の潮風により、

とった2日間にわたる工程と空気

小豆島の恵まれた自然と伝統の技が今も変わらぬ魅力を創出

■ 手延べ素麺の材料

伝



ということもない

のかと

こう

した新しい味も生

瀬戸内海の塩 美しい瀬戸内の海水から作られるミネラ ルや旨味がたっぷりの塩



小豆島

北海道産の小麦 北海道産はじめ選りすぐりの小麦を使用



国内栽培の発 祥であるオリー ブのほか、ごま 油の生産も盛 んな小豆島

左/島の風(250g) 550円、中央/島の雪(250g) 500円 右/島のへんろ道(250g)550円

## お問い合わせ先

小豆島手延素麺協同組合 〒761-4397 香川県小豆郡小豆島町池田 1031 ☎0879-75-0039 **2**0879-75-2474



ているが、 寒い時期にじっくりと熟成時間を 最後に天日でゆっくり乾燥させる ごま油が身近にあることや、雨が 色や風味は長く保たれる。 酸化を抑えることに繋がり、 る。ごま油を使用することが麺の という独自の製法が用いられてい 極細の糸状になるまで引き伸ばし、 ながら練り、木箸を使って丁寧に べ素麺は純正ごま油を生地に塗り まで至った。その中で小豆島手延 素麺のひとつに数えられる地位に ら播州、三輪とともに日本の三大 少なく温暖な気候であったことか なった。そして良質の小麦、 作ることができることから盛んに 冬の農閑期でも家族の労働だけで 年に奈良の三輪から学び伝えられ、 豆島の手延べ素麺作りは1598 製法でなければ生み出せない。小 めらかな食感、はやはり、手延べ 麺は現在機械製麺が一般的になっ 肝心な ゴシ〟や さらに 塩

これほどのこだわり抜いた上で生

のひとつとして数えられている。

れる逸品にはきっと、多くのファ

が根づいていているに違いな

夏になると大量に消費される素

手延べ素麺においても有名ブラン

いる。オリーブで有名な小豆島は、

# 日本三大生産地の一角

1598年に池田村 (現小豆島町池田) の人がお伊勢参りに行った旅の途中で 奈良の「三輪」の手延素麺造りを学 び持ち帰ったことで始まった小豆島の 手延べ素麺作りは、その後 400 年受 け継がれ三輪、播州とともに日本三大 産地のひとつに数えられている。

95 本場の本物 本場の本物 94